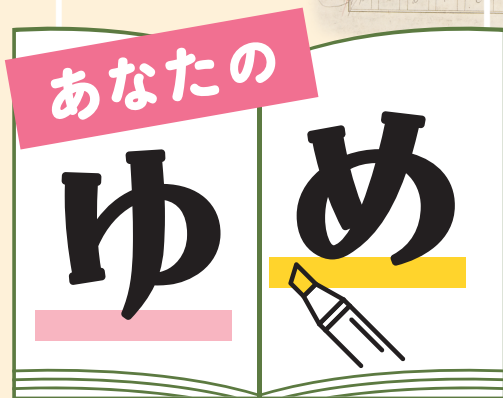
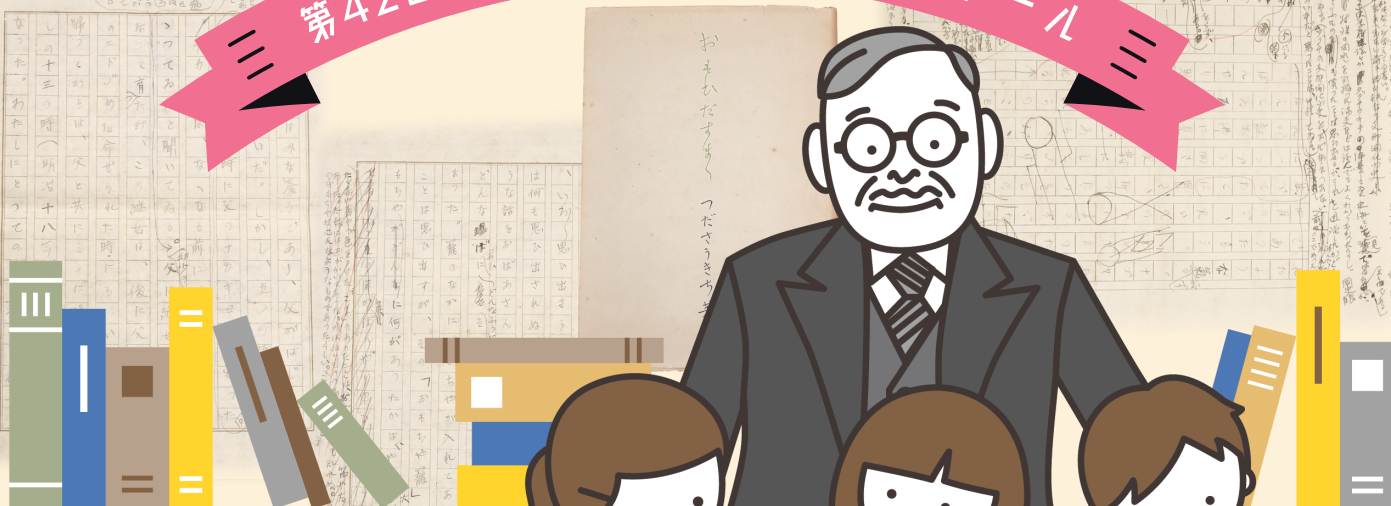


第42回 津田左右吉賞作文コンクール



を大募集します!

津田左右吉博士は、日本の歴史を科学的に調べなおすことをすすめた人物として尊敬されています。
博士は、苦しい状況の中でも、決して自分の考えをまげることなく目標に向かって走りつづけました。そのような姿をみなさんにも伝えたいと考えています。

部門

小学校5・6年生の部

中学校の部

作品内容

津田左右吉博士は、「一生のうちに自分の身長と同じほどの原稿を積み重ねたい」という夢をもって研究に打ち込みました。津田博士の情熱に負けないようなあなたの「ゆめ」を募集します。また、津田博士のことについて知ったこと、考えたことについての作品も同時に募集します。

- ① あなたの「ゆめ」 ② 津田左右吉博士

作品規定

自作の未発表作品
小学校5・6年生の部 …… 400字詰め原稿用紙3～4枚程度
中学校の部 …… 400字詰め原稿用紙4～5枚程度

※入選者の著作権は主催者に帰属します。
※本コンクールにご応募いただいた方の個人情報は、出品作品に関する問い合わせ、審査結果の通知、受賞作品による作文集への氏名及び学校名と学年の記載のみに使用します。また、入賞作品は、作文集に掲載させていただきます。

賞

小学校
5・6年生の部

最優秀賞 1名 (賞状、記念品、図書券3千円分)
優秀賞 2名 (賞状、記念品、図書券2千円分)
佳作 若干名 (賞状、記念品、図書券1千円分)

中学校の部

最優秀賞 1名 (賞状、記念品、図書券5千円分)
優秀賞 2名 (賞状、記念品、図書券3千円分)
佳作 若干名 (賞状、記念品、図書券2千円分)

応募者全員に参加賞を贈ります

応募期間

令和8年8/4(火) ▶ 9/10(木)

応募先

〒505 - 0004
岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299 - 1
津田左右吉博士顕彰会事務局
(みのかも文化の森内)
TEL 0574 - 28 - 1110
※応募作品は、返却いたしません。

表彰式・作文発表会

と き：令和8年11月28日(土) 13時～15時
ところ：みのかも文化の森
(美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3299 - 1)

※表彰式があります。その際、最優秀賞に選ばれた児童・生徒による作品発表を行います。また、記念事業を開催します。
※入賞作品は、冊子(作文集)に掲載します。

津田左右吉博士を知るために チラシ裏へつづく

『歴史学者 津田左右吉』赤座憲久著 (小峰書店)
マンガ偉人伝『津田左右吉物語』美濃加茂市教育委員会
『津田左右吉と美濃加茂』津田左右吉博士顕彰会
図録『子どもの時のおもひでを語るとき』
— 津田左右吉生誕150年 美濃加茂市民ミュージアム
みのかも文化の森ホームページ
<https://www.forest.minokamo.gifu.jp/jinbutsu/index.cfm>

主催／美濃加茂市・津田左右吉博士顕彰会



つ　だ　そ　う　きち

津田左右吉

(1873 - 1961)

つ　だ　そ　う　きち
津田左右吉は、大正・昭和時代の日本を代表する歴史学者です。

そ　う　きち
左右吉は下米田の出身で、今の下米田小学校に通っていました。その頃、森達先生と　お　るの教えを受け、学問の道に
進みました。

大学を卒業し、学校の教師や研究員をしました。その後、母校の早稲田大学教授になりました。そして、
「古事記」、「日本書紀」の古い歴史の本についての研究書を発表しました。太平洋戦争が近づくと国粋主義者
に弾圧され、研究書の発行を禁止されたり、天皇を軽んじたとして裁判を受けたりもしました。でも、左右吉は
堂々と自分の考えを貫き通して、ゆるされ、学問の自由を守りました。

れ　き　し　　ぎ　や　う　せ　き　　み　と
歴史研究の業績が認められ、昭和24(1949)年に文化勲章を受章、昭和35(1960)年に美濃加茂市み　の　か　も　しの名誉市民
第1号になりました。

市内には、左右吉の生家を移築した「津田左右吉博士記念館」があり、広く左右吉の業績を紹介しています。
また、左右吉をたたえる津田左右吉博士顕彰会つ　だ　そ　う　きち　は　く　し　けんしょうかいが発足し、活動しています。同会では、毎年小中学生を対象とし
た作文を募集し、「津田賞」として子どもたちの励みとなる行事などを続けています。



津田左右吉博士記念館

(『わたしたちのまち 美濃加茂』美濃加茂市教育委員会 より)